



4年生の意地 箱根駅伝10区

二井 康介選手(文4)

1月の第96回箱根駅伝で、中央大は総合12位と、今年もシード権(10位以内)を獲得できなかった。4年生でただ一人出場した最終10区の二井康介選手(文4)が区間6位と好走し、最上級生の意地を見せた。悲しみや苦悩、試練を乗り越えた二井選手を、藤原正和監督は「不死鳥のような男の魂の走り」と称えた。



ゴール後、笑顔を見せる二井選手